

小林市環境基本計画年次報告書

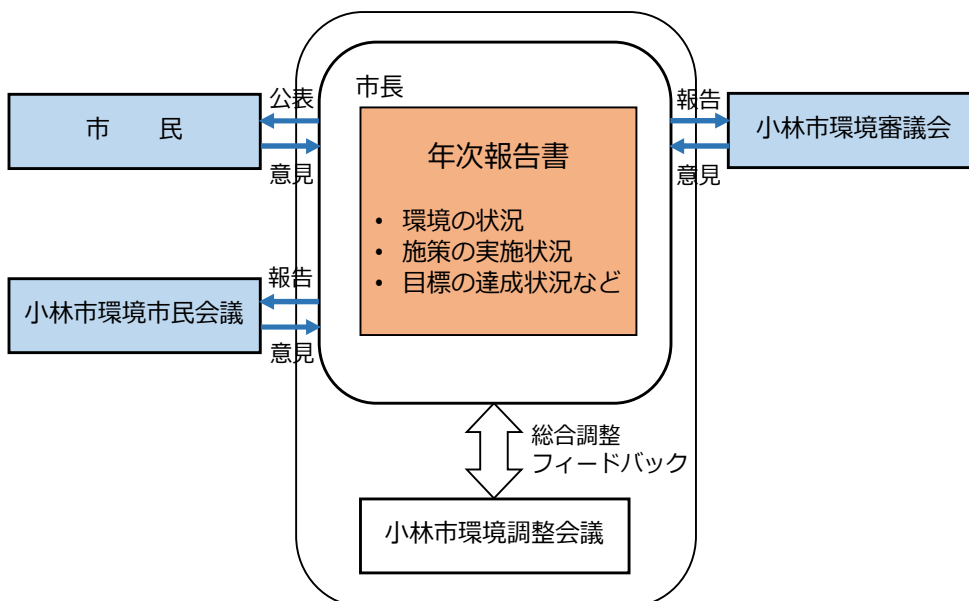
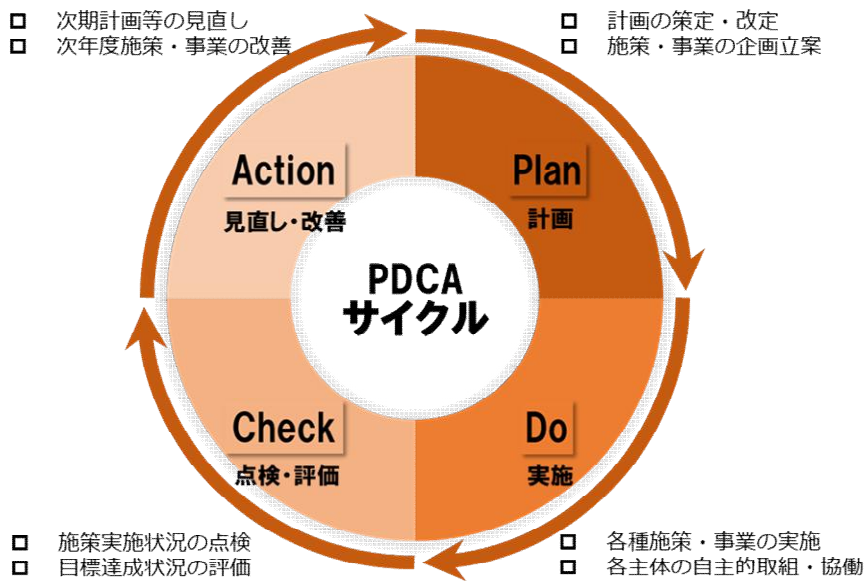
令和7年度(2025年度)版
(令和6年度(2024年度)実績)

宮崎県小林市

小林市環境基本計画年次報告書について

本市では、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため小林市環境基本計画（以下「本計画」という。）を策定しています。

小林市環境基本計画年次報告書（以下「年次報告書」という。）は、P D C Aサイクルによって運営管理される本計画の進行管理を行うために作成するものです。



環境目標と施策の基本方針に基づく具体的目標

本計画の環境目標、施策の基本方針、具体的目標は次のとおりです。

| 環境目標 | |
|---------------------------|---|
| 施策の基本方針 | |
| 具体的目標 | |
| 1. 脱炭素の取組を推進し、地球環境にやさしいまち | |
| (1) 温室効果ガスの排出削減 | ■省エネルギー対策や省資源化等を推進する |
| (2) 再生可能エネルギー等の利用促進 | ■再生可能エネルギー等の導入を促進する |
| (3) 地球環境にやさしいまちづくり | ■効率的で効果的な公共交通網を整備する ■森林などによる二酸化炭素の吸収を促進する |
| (4) 気候変動への適応 | ■気候変動影響と適応策への理解を促進する ■水環境・水資源分野 ■自然災害分野 ■農林水産分野 ■自然生態系分野 ■健康分野 |
| 2. 地域の資源が循環し、ごみの少ないまち | |
| (1) ごみの4Rの推進 | ■ごみの減量化を推進する ■食品ロスを削減する ■高いリサイクル率を維持する ■プラスチック資源循環に向けた取組を推進する |
| (2) 廃棄物の適正処理の推進 | ■ごみ処理・処分場の維持管理と適正化を推進する ■不法投棄ゼロを目指す |
| (3) バイオマス資源利活用 | ■家畜排せつ物を有効活用する ■木質資源の有効活用を促進する |
| (4) 環境保全型農業 | ■環境に配慮した地域循環型農業を実施する ■持続可能な農業基盤づくりを推進する |
| 3. 豊かな自然の恵みと共生できるまち | |
| (1) 豊かな湧水の保全 | ■豊かな湧水を保全する |
| (2) すぐれた自然、身近な自然の保全 | ■すぐれた自然を適正に保全する ■外来生物対策を推進する ■身近な自然を保全する ■自然環境に配慮した開発整備を推進する |
| (3) 人と自然とのふれあいの場の確保 | ■自然とふれあう空間を整備する ■自然とのふれあい活動を推進する |
| (4) 植林地の適正管理と照葉樹林の育成 | ■計画的な森林の整備と保全を行う ■防災のための治水・治山対策を推進する ■水源林整備を促進する |
| 4. 安心で安全かつ快適な暮らしができるまち | |
| (1) 快適で安全な空間の整備 | ■公園緑地を整備する ■地域緑化を推進する |
| (2) 人にやさしい都市基盤の整備 | ■都市基盤における安心安全を確保する ■人にやさしいまちづくりを推進する |
| (3) 良好な水環境の保全 | ■水質環境基準を達成し、維持する ■大淀川水系などの源流域の保全に努める |
| (4) 大気汚染、悪臭、騒音など公害防止体制の整備 | ■大気環境を保全する ■騒音の防止に努め、快適な音環境を創出する ■公害防止体制を整備する ■悪臭の防止に努める ■化学物質対策を推進する |
| 5. みんなで考え、自主的に環境保全に取り組むまち | |
| (1) 環境教育、環境学習の推進 | ■学校や地域の環境教育・環境学習を推進する ■環境情報の発信と共有を促進する ■家庭における環境教育を促進する ■自然や資源を生かした交流を促進する |
| (2) 環境保全活動の推進 | ■環境保全活動を推進する ■次世代の環境の担い手づくりを推進する ■市民・事業者などの自主的活動を促進する |

点検・評価について

年次報告書では、施策実施状況の点検及び目標達成状況、重点プロジェクトについて点検・評価します。

■ 施策実施状況の点検及び目標達成状況の評価

施策実施状況の点検及び目標達成状況の評価は、実績値欄に具体的目標ごとに設定している数値目標に対する令和6年度（2024年度）の実績値（実績値の年度が異なる場合は括弧書きで記入）を、取組内容欄に取組内容を記入して行います。

目標値は、本計画の最終年度である令和14年度（2032年度）の値ですが、諸事情により目標年度が異なる場合は、括弧書きで記入しています。

【記載例】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|---------------|--------------------|-----|-------------|--------------------------|
| 生活環境課 | 市全体の温室効果ガス排出量 | 千t-CO ₂ | 201 | 315 (R4) | 市報などにより省エネの取組に関する啓発を行った。 |

■ 重点プロジェクトの点検

重点プロジェクトの点検は、本計画で設定した取組内容に対し、令和6年度（2024年度）に行った取組内容を点検結果欄に記入して行います。

施策実施状況の点検及び目標達成状況の評価

1 脱炭素の取組を推進し、地球環境にやさしいまち

(1) 温室効果ガスの排出削減

【環境基本計画 18頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|--------------------------------|--------------------|-------|-------------|---|
| 生活環境課 | 市全体の温室効果ガス排出量 | 千t-CO ₂ | 201 | 315 (R4) | 市報を中心とした省エネの取組に関する啓発を行った。 |
| 生活環境課 | 温室効果ガス排出量 (小林市の庁舎・事業からの排出量) | t-CO ₂ | 5,587 | 8,913 | 庁内の事務事業に伴う温室効果ガス排出状況を分析・共有するとともに、実施計画の改定を行った。 |
| 管財課 | 公用車に占める次世代自動車の導入台数(累計) | 台 | 10 | 9 | EV軽貨物自動車1台を購入し、集中管理車として予約システムにより管理し効率的かつ効果的に利用出来るよう貸出しを行っている。 |
| 危機管理課 | 街灯(防犯灯・安全灯)のLED照明率 | % | 85.0 | 56.1 | 老朽化が著しい蛍光灯及び白熱球について、球切れの際、順次LED化を実施した。 |

(2) 再生可能エネルギー等の利用促進

【環境基本計画 23頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|-------------------|----|------|--------------|-------------------------------|
| 生活環境課 | 再エネ電力の導入量 | MW | 60.5 | 60.5 (R5) | 事業者からの各種再エネ電力に関する窓口対応・調整を行った。 |
| 学校教育課 | 小・中学校への太陽光発電設備設置数 | 校 | 8 | 8 | 校舎の設備の更新に併せて設置を検討する。 |

(3) 地球環境にやさしいまちづくり

【環境基本計画 25頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|--|----|--------|--------|---|
| 企画政策課 | 有償運送バス(コミュニティバス、須木区福祉バス、野尻町区福祉バス)の利用者数 | 人 | 32,800 | 23,363 | コミュニティバス:利用状況等を調査し、運行便数の見直しなどを検討した。 福祉バス:アンケートを実施し、利用目的や満足度等の調査を行った。 |

(4) 気候変動への適応

【環境基本計画 28頁】

数値目標の設定なし

2 地域の資源が循環し、ごみの少ないまち

(1)ごみの4Rの推進

【環境基本計画 33頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|--------------------|------|------|------|------------------------------------|
| 生活環境課 | 市民1人1日あたりの一般廃棄物排出量 | g人/日 | 285 | 360 | ふれあい収集制度の促進。生ごみ処理機購入費補助の実施。 |
| 生活環境課 | 一般廃棄物資源化率 | % | 69.4 | 55.8 | 適正な分別方法等の情報を広報誌、情報アプリを活用し市民へ周知。 |
| 農業振興課 | 農業廃プラスチック回収量 | t | 200 | 173 | 農業用廃プラスチックの適正処理のため収集及び適正排出の周知等を実施。 |

(2)廃棄物の適正処理の推進

【環境基本計画 37頁】

数値目標の設定なし

(3)バイオマス資源利活用

【環境基本計画 39頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-----|-------------------|----|--------------------|-----|---|
| 畜産課 | 庁内の畜産環境アドバイザー数 | 人 | 5 | 6 | 宮崎県が行う畜産環境保全技術研修会を通じて畜産環境アドバイザーの確保に務めた。 |
| 畜産課 | 家畜排せつ物(バイオマス)利活用率 | % | 98 (令和8年3月末改定時) | 94 | 小林市バイオマス活用推進計画の令和8年3月末改定に向けて、庁内協議及び調査委託を実施し、現状値の把握に努めた。 |

(4)環境保全型農業

【環境基本計画 42頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|------------------|----|-----|-----|------|
| 農業振興課 | 農業廃プラスチック回収量(再掲) | t | 200 | | (再掲) |

3 豊かな自然の恵みと共生できるまち

(1)豊かな湧水の保全

【環境基本計画 45頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|--------------|----|-----|-----|--|
| 生活環境課 | 地下水の環境基準適合状況 | % | 100 | 100 | 湧水や地下水の水質検査を行った。また、県が行った地下水の水質検査でも不適合の箇所はなかった。 |

(2)すぐれた自然、身近な自然の保全

【環境基本計画 47頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|-------------------------------------|----|----------------------------------|--------------------------|---|
| 生活環境課 | 宮崎県レッドデータブック・環境省レッドリストなどに該当する動植物の種数 | 種 | 現状維持 動物107種 植物171種 (R2) | 動物107種 植物171種 (R2) | 希少野生動植物の生息状況等調査は、高度な専門知識と経験が必要なため、取組は困難な状況になっている。 |
| 上下水道課 | 農業集落排水事業加入率 | % | 91.4 | 89.7 | 農業集落排水接続を促す普及員による個別訪問、下水道の日に合わせて展示ブースの設置や啓発品の配布などを実施した。 |

(3)人と自然とのふれあいの場の確保

【環境基本計画 50頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|------------|----|-----------------|-----|-----------------------------|
| 商工観光課 | 体験型観光の入込客数 | 人 | 1,100 (R7年度) | 695 | 北きりしま田舎物語推進協議会が行う教育旅行などを実施。 |

(4)植林地の適正管理と照葉樹林の育成

【環境基本計画 52頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|--------|----|------|------|----------------------------|
| 農業振興課 | 再造林率 | % | 80.0 | 75.0 | 森林環境贈与税を活用し、個人負担分の一部を補助した。 |

4 安心して安全かつ快適な暮らしができるまち

(1)快適で安全な空間の整備

【環境基本計画 55頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-----|----------------|----------------|-------|-------|---|
| 建設課 | 市民1人あたりの都市公園面積 | m ² | 15.30 | 14.44 | 緑ヶ丘公園の樹木整姿及び転落防止柵の設置を行った。永田平公園の法面の整備を行った。 |

(2)人にやさしい都市基盤の整備

【環境基本計画 57頁】

数値目標の設定なし

(3)良好な水環境の保全

【環境基本計画 59頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|----------------|-----------|----|------|------|--|
| 上下水道課 生活環境課 | 汚水処理人口普及率 | % | 94.4 | 78.7 | 下水道接続を促す普及員による個別訪問を行った。 汲取り槽または単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換する住居への補助事業を行った。 |

(4)大気汚染、悪臭、騒音など公害防止体制の整備

【環境基本計画 62頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|--------|----|-----|-----|------------------|
| 生活環境課 | 公害苦情件数 | 件 | 0 | 1 | 振動1件の公害苦情処理を行った。 |

5 みんなで考え、自主的に環境保全に取り組むまち

(1)環境教育、環境学習の推進

【環境基本計画 66頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|------------|----|-----|-----|---|
| 生活環境課 | 水生生物調査参加校数 | 校 | 3 | 1 | 須木小学校1校が「水辺の学習」に参加した。 また、団体として、小林市子ども会育成連絡協議会が参加した。 |
| 学校教育課 | 環境教育推進学校数 | 校 | 1 | 2 | 県の環境教育推進事業の指定を受け、紙屋小学校及び紙屋中学校において、地域や学校における日常的な4R活動等の環境学習を推進した。 |

(2)環境保全活動の推進

【環境基本計画 69頁】

| 担当課 | 数値指標項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 取組内容 |
|-------|------------------|----|-----|-----|---|
| 商工観光課 | ISO14001などの取得企業数 | 件 | 15 | 12 | 緑化活動の推進のため、県道1号線みどりのトンネル植樹祭に48社の企業が参加した。また、省エネ・脱炭素経営セミナー等のチラシ掲示による周知を行った。 |
| 生活環境課 | 環境教室などの参加者数 | 人 | 450 | 750 | 清掃工場の見学、講師派遣の出前講座等を実施。 |
| 生活環境課 | こどもエコクラブ参加団体数 | 団体 | 3 | 0 | 登録クラブがないため、実施していない。 |
| 農業振興課 | 緑の少年団参加団体数・参加者数 | 団体 | 3 | 3 | 森林体験活動や街頭でのみどりの募金の呼びかけ等を実施した。 |
| | | 人 | 47 | 42 | |

重点プロジェクトの点検

重点プロジェクト1 地域資源を活用した脱炭素社会の実現

【環境基本計画 73頁】

| 環境目標 | 施策の基本方針 | 取組内容 | 点検結果 |
|------|------------------|---|---|
| 目標 1 | 再生可能エネルギー等の利用促進 | 地域に賦存する多種多様な再生可能エネルギーの導入を検討します。 | 庁内外から案内される各種セミナーへ積極的に参加し、再生可能エネルギーに関する情報収集に努めた。 |
| | | 公共施設において再生可能エネルギーを率先して導入します。 | 公共施設における再生可能エネルギーの導入状況の現状把握に努め、庁内部署の動向に応じた事業支援に努めた。 |
| 目標 2 | バイオマス資源利活用 | 市域の特性である、家畜排せつ物や木質資源などのバイオマスの活用を推進します。 | 次期小林市バイオマス活用推進計画策定について、令和8年3月末を目標に小林市バイオマス利活用推進協議会分科会を設け、バイオマス活用の推進に向けた検討を実施した。 |
| | | 木質ペレット、薪、おが粉や木材チップの利用の拡大を図るために、市民、事業者への普及啓発を行います。 | 庁内関係課及び関係事業所と普及に向けた協議、検討を実施した。 |
| 目標 3 | 植林地の適正管理と照葉樹林の育成 | 除間伐の推進により優良形質材の生産を図るとともに、間伐材を木質バイオマス資源として有効活用します。 | 庁内関係課及び関係事業所と普及に向けた協議、検討を実施した。 |

重点プロジェクト2 資源循環型社会の実現

【環境基本計画 74頁】

| 環境目標 | 数値指標項目 | 取組内容 | 点検結果 |
|------|----------------------|--|---|
| 目標 2 | ごみの4Rの推進 | 市民や事業者に対して継続的に4Rの啓発を行い、ごみの発生抑制とともに、発生したごみに対する分別の徹底を図ります。 | リサイクル指導員を配置し、官民協同で適正分別を促進。 高齢者等の弱者に対する収集支援としてふれあい収集を実施(令和6年度新規54件)。 |
| | | 学校や地域と連携し食育を推進し、食品ロス発生を抑制します。 | 生ごみ分別について、工場見学や出前講座の際に説明。 |
| | | 市民や事業者に対してプラスチックごみの発生抑制に関する普及啓発などに取組みます。 | 転入者等へ分別の説明及び虎の巻を配布。広報誌、分別アプリさんあ〜る、LINEアプリにて適正分別等の情報を発信。市民団体へ出前講座による普及啓発を実施。 |
| | 環境保全型農業 | 農業用廃プラスチックの適正処理・リサイクルを推進します。 | 農業用廃プラスチックの適正処理のため収集及び適正排出の周知等に向けた協議及び検討を関係機関で実施した。 |
| 目標 3 | 植林地の適正管理と照葉樹林の育成(再掲) | 小林市バイオマスセンターなどの活用により良質堆きゅう肥の生産を促進し、耕種農家と畜産農家の連携による循環型農業の確立を図ります。 | 化学肥料の低減や環境負荷低減の持続可能な営農を推進するための啓発や各種事業等を実施した。 |
| | | 除間伐の推進により優良形質材の生産を図るとともに、間伐材を木質バイオマス資源として有効活用します。 | 再掲 |

重点プロジェクト3 市民がつくる豊かな自然環境の実現

【環境基本計画 75頁】

| 環境目標 | 数値指標項目 | 取組内容 | 点検結果 |
|------|-----------------|---|--|
| 目標3 | 豊かな湧水の保全 | 市民や事業者に対して、湧水の重要性を周知し、保全方法について啓発を行います。 | 湧水量調査及び湧水・地下水の水質検査を行った。 |
| | すぐれた自然、身近な自然の保全 | 貴重動植物の保護策を推進します。また、貴重動植物の生息地となる森林や湿地などの保全に努めます。 | 国・県から情報提供があった際に、庁内関係課と情報共有を行った。 |
| | | 外来生物に関する情報を収集し、防除対策などの周知を行います。 | 外来生物等に関する情報をホームページ等で周知した。 |
| 目標4 | 良好な水環境の保全 | 公共下水道、農業集落排水施設への加入や、合併処理浄化槽への転換を推進します。 | 啓発や普及員の個別訪問により、公共下水道、農業集落排水施設への加入促進を行った。合併処理浄化槽への転換の補助を行った(令和6年度:98基)。 |
| | | 大淀川水系などの源流域の森林保全及び照葉樹林の育成を図り、水源かん養林の保全を推進します。 | 盛土規制法に対応し、森林施業を円滑に行うため、小林市森林整備計画書の一部改正を行った。 |
| 目標5 | 環境教育、環境学習の推進 | 環境教育・環境学習を行うための情報を収集し様々な手法で発信します。 | 研修会への参加などにより情報収集し、広報誌やホームページなどを活用して情報を発信した。 |
| | | 環境保全団体などの活動支援による保全活動の拡大や、市民が活動に参画しやすい環境を整備します。 | 学校や地域において、環境教育・環境学習を行った。 |
| | 環境保全活動の推進 | あらゆる世代の市民が様々な形態で参加できる環境保全の学習会・研修会、環境関連イベントを継続的に実施します。 | 小中学校や生きがい学級等において、環境保全やごみ減量に関する出前講座を行った。 |
| | | 緑の少年団やこどもエコクラブなど、子どもを対象とした環境保全活動を支援し、次世代の担い手を育成します。 | 緑の少年団の活動団体に補助金を交付し、講師を派遣して森林保全の説明をした。 |